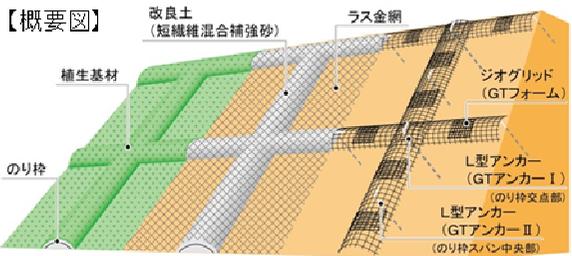
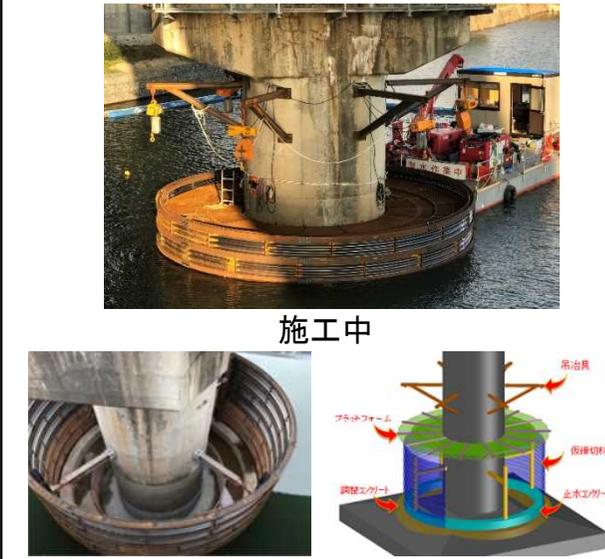
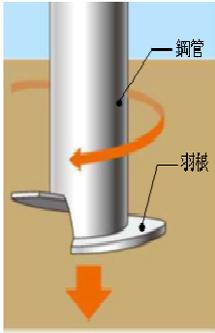


1. 平成30年度推奨技術	2. 平成30年度準推奨技術	3. 平成30年度準推奨技術
<p align="center">CB-070019-VG</p>	<p align="center">CB-100017-VE</p>	<p align="center">CB-110010-VE</p>
<p align="center">GTフレーム工法 (ジオグリッドおよび短繊維混合補強砂を用いたのり面表層保護工)</p>	<p align="center">プレキャストシール版 (小段排水溝や縦排水溝の周囲を雨水や湧水から保護するプレキャスト版)</p>	<p align="center">仮締切LPF工法 (ライナープレートの水中仮締切工法)</p>
<p>ジオグリッドおよび短繊維混合補強砂をのり枠材に用いた吹付のり枠工法である。この組み合わせから得られる、ねばり強く、柔なのり枠構造は、耐久性に優れ、さらに枠自体にも植物が生育できるため、のり枠面を含む全面緑化が可能となり、自然と調和した緑豊かな景観の保全が図れる技術である。</p>  	<p>道路法面に設置される小段排水溝や縦排水溝において、水路の周囲に、側溝とのズレを抑える形状を有したプレキャスト製品を敷設することにより、小段排水溝や縦排水溝の周囲を雨水や湧水から保護する技術である。</p> 	<p>水中に既存する橋脚の補強・補修時の気中空間を確保するライナープレートの仮締切工法。現地に合わせた施工部材で施工性を向上し大幅な工期短縮が可能となる。桁下低空間(1.8m程度)や大型機械が配置できない施工環境(人力)でも可能である。水深15.0mまで可能。(実験により)仮締切形状は円形・小判形・矩形など。</p> 

4. 平成30年度準推奨技術	5. 平成30年度準推奨技術	6. 平成30年度準推奨技術
<p>QS-110030-VE</p>	<p>QS-110033-VE</p>	<p>SK-070010-VG</p>
<p>INSEM材製造専用プラント :SR - メサイア (現地土砂を活用した砂防ソイルセメント(INSEM材)製造装置)</p>	<p>エンパソル (ロータリー式サウンディングによる地盤調査システム)</p>	<p>簡易支持力試験機エレフット (地盤の平板載荷試験の補完試験機)</p>
<p>建設現場で発生する土砂にセメントと水を自動添加混合し、砂防ソイルセメントのINSEM材として再利用する専用の全自動プラントである。</p> <div data-bbox="353 831 667 1098" data-label="Image"> </div> <p>INSEM材製造状況</p> <div data-bbox="215 1137 768 1414" data-label="Image"> </div> <p>堰堤内部材としての利用状況</p>	<p>注入工事等の施工に使用するドリリングマシンに取り付けた各種センサーを用いて削孔と同時に種々のデータを測定・記録し、これらのデータをコンピュータにより解析することで、一般の地質調査法と併用し地盤の分類、硬軟を迅速に判断できるシステムである。さらに、地盤改良工事の事前と事後のデータを比較することで、地盤改良の効果確認が可能である。</p> <div data-bbox="819 943 1093 1203" data-label="Image"> </div> <p>データ収集状況</p> <div data-bbox="1099 963 1420 1123" data-label="Figure"> </div> <p>データチャート</p> <div data-bbox="972 1203 1420 1485" data-label="Diagram"> <pre> graph TD A[掘削機] --> B[データ収集] B --> C[データベース] C --> D[エンパソル] D --> E[データベース] E --> F[データ解析] F --> G[データ解析ソフトウェア] G --> H[データ解析結果] H --> I[データ解析結果] I --> J[データ解析結果] </pre> </div>	<p>試験機器は、軽く(約8kg)、丸椅子程度、手軽に扱い易く、現場技術者用に開発。狭い場所でも試験可能。試験は当会の講習を受講(修了証所持)された方が行います。</p> <p>試験方法は平板載荷試験同様に段階毎に静的加圧を10点行い、その結果をPCに入力すればグラフと沈下量に併せて、判定結果がPC画面に現れます。この間、試験を含め約30分弱です。10点を総合的に判定し、もし支持力不足となれば、その場で更に深く掘っての支持層確認や周辺を確認します。</p> <p>平板載荷試験が難しい、何ヶ所も確認、即時結果等で活躍。最大4375kN/m²。</p> <div data-bbox="1447 1107 1756 1414" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1756 1107 2040 1326" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1756 1326 2040 1497" data-label="Image"> </div>

7. 平成30年度準推奨技術	8. 評価促進技術	9. 評価促進技術
TH-110020-VE	QS-080010-V	HR-120004-A
<p>小径NSエコパイル工法 (高さ制限や狭隘地への対応が容易な無排土・回転杭工法)</p>	<p>ハイジュールネット工法 (高エネルギー吸収型落石防止柵)</p>	<p>ECONビ工法 (側溝の上部補修補強工法)</p>
<p>本工法は、先端にらせん形状の鋼板(羽根)を取付けた鋼管杭を木ねじのようにそのまま地中へねじ込む杭工法である。水やセメントを使用しないためプラント設備が不要であり、またコンパクトな小型杭打機のみで施工ができるため、従来工法に比べ、用地制限や高さ制限、近接施工等への対応が容易である。</p> <div data-bbox="181 1010 568 1490">  </div> <div data-bbox="577 1157 792 1490">  <p>鋼管 羽根</p> </div>	<p>大きな落石エネルギーをブレーキエレメント(緩衝装置)を用いて吸収し、耐久性が高く部分的な補修ができて維持管理が容易な高エネルギー吸収型落石防止柵(ハイジュールネット)。日本の地形に応じた支柱割付が可能であり、柵高のメニューも取り揃えている。</p> <div data-bbox="815 941 1167 1206">  </div> <p>施工事例</p> <div data-bbox="1061 1174 1417 1444">  </div> <p>土砂捕捉試験(実物大)</p>	<p>側溝本体を壊さず、老朽化した蓋のみをECONビ蓋(一次蓋・二次蓋)と交換することにより修繕する側溝修繕工法です。一次蓋を充填剤で固定すると同時に側溝本体の破損部も補修でき、交通を即日開放することが可能な技術である。</p> <div data-bbox="1458 903 1832 1157">  </div> <p>一次蓋設置状況</p> <div data-bbox="1664 1206 2040 1453">  </div> <p>二次蓋設置状況</p>